

No. 1217

立 夏

—富山・神奈川—

花の女王“チューリップ”の美しさを存分に満喫させてくれる富山県・礪波平野。全国一の生産を誇り輸出の90%をしめるこのチューリップは大正7年水野豊造がはじめていらい、今まで水田の裏作として栽培されてきた。「生まれてきた人間のひとりひとりが一本づつの花の木を植えるとしたら未来の地球はどんなに美しくなるだろうか」文豪チエホフはこう記した。5月6日は夏の入り。海ではもう波乗りを楽しむ姿が見える。初夏の風を帆いっぱいに受けて海をすべるヨット。夏を先取りする若者たち、夏は若者の季節だ。

チビッ子の休日

NHK記者山下頼充さん、紀子さん夫妻の五つ子ちゃんの休日は一家揃っての散歩。誕生してから一年3カ月、五人の成長は極めて順調、全員ひとり立ちができるようになりました。中でも寿子ちゃんと洋平君の二人はもう歩きます。

この日の五人はそろいの下シャツにロンパース姿。五月晴れの空に泳ぐコイノボリの下で元気にはしゃいでいました。

こちらは生まれ間もないサルの赤ちゃん。いたずら好きだが母親のそばを離れられません。人間もサルをまねてか片ぐるま休日の動物園はチビッ子たちで超満員。「オレ、関係ないよ」とばかり昼寝を決め込むのはカバ。子供はのんびりと水遊びを楽しんでいます。あとは水いらずでやっぱりお昼寝。日頃はいたずら好きのチビッ子も動物にさわるのはにがてとあってなかなかはじめません。それでもおっかなびっくり撫でたり、触ったり、しまいには引っ張り回すチビッ子も。

迷子の相談所は次々と連れられてくるチビッ子で満員、親たちも青くなって駆け込んでいます。やっとの思いで御対面チビッ子たちの休日もなかなか大変なようです。